



令和3年7月号
文：園長

かのんだより

7月の予定		
1	木	幼 音楽
2	金	かのん祭り
3	土	
4	日	
5	月	た 剣道(9:15-45)
6	火	幼 YY たう E.E.
7	水	
8	木	
9	金	た 茶道
10	土	
11	日	
12	月	た 剣道(9:15-45)
13	火	たう E.E.
14	水	幼 運動
15	木	幼 音楽
16	金	た お泊まり保育
17	土	た お泊まり保育
18	日	
19	月	た 剣道(9:15-45)
20	火	幼 YY たう E.E.
21	水	た 茶道 幼 音楽
22	木	海の日
23	金	スポーツの日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	た 剣道(9:15-45)
28	水	幼 運動
29	木	幼 音楽
30	金	
31	土	

※アートの日程は調整中です。
kidslyカレンダーを更新していきますのでご確認ください。

全 全園児

幼 幼児クラス（やま・うみ・たいよう組）

乳 乳児クラス（つき・そら・にじ組）

た たいよう組（5歳児）

う うみ組（4歳児） や やま組（3歳児）

に にじ組（2歳児） そ そら組（1歳児）

つ つき組（0歳児）

夏が来ました！今年はオリンピックの夏でもありますね。色々不安もありますが、どうせ開催するのであれば、子どもたちにとっても良い刺激になると良いなと願っています。

先月から再開した「半日保育士体験（保育参加）」の申し込みも増えてきました。久しぶりに保護者の方とじっくりお話しできることは、担任にとっても良い経験と気づきにつながっているようです。色々ご不安もある中、参加していただきありがとうございました。

暑さはこれからです。熱中症に気を付けつつ、夏ならではの生活を楽しんでいきましょうね。

▶職員についてお知らせ

▷入職 ^{すわ} 諏訪 ありさ 先生（常勤保育士）

※つき組（0歳児クラス）の担任となります。

▶実習生・インターンシップを受け入れます

▷このようなご時勢ではありますが、実習生及びインターンシップ生の受け入れをさせていただきます。学校・学生側と協議し、感染予防対策をした上で保育に入らせていただきます。

- ― 釜利谷高校 インターンシップ 2名 7/26~7/30
- ― 東京モンテッソーリ教師養成校 7月に6日間

▶水遊び・泥遊び・プール遊びが始まります

▷クラスによって活動の内容や持ち物が少しずつ異なりますので、配布（配信）済みのお知らせをご覧ください。

▷爪が伸びていないかの確認をお願いします。（足の爪も必ず！）

▶衣類のサイズをご確認ください

▷いよいよ夏が到来します。

汗をかくことで普段より衣服の着脱がしづらくなりますので、サイズが小さくないかのご確認をお願いします。

※特に、着脱自立獲得の時期にある1～3歳の子は要チェックです！

▶たいよう組「お泊まり保育」を実施します。

▷7月16日～17日

▷遠足には行かず、園内で独自プログラム活動を行います。
詳細は、別紙おたよりでご案内致します。

※今年度以降のお泊まり保育について

お泊まり保育については、例年「遠足（シーパラ）」を組み込んでいましたが、近年の夏の猛暑化傾向により、歩いて公共交通機関を利用したの帰園が難しくなってきました（本当に生命の危険があります！）。ここ数年は貸切バスを使用しての帰園をしていましたが、今後は園内プログラムを中心にしたもの^{いも}に切り替えていくことを検討しています。遠足はあくまでお泊まり保育の一プログラムに過ぎず、他にも盛り沢山の新しいプログラムも用意していますので、遠足がなくなる影響は軽微なものと考えております。子どもたちにとって充実した行事の一つになるよう努めてまいりますので、ご理解いただけるとありがたいです。

育児のヒント

2019年6月 当法人主催 育児講演会より

講師：三浦 真保 先生(社会福祉法人わかば そらのいえ保育園副園長、臨床心理士・小・中学校・高等学校スクールカウンセラー)

～子育て、楽しんでいますか？～

子育てにイライラしてしまう理由、それは・・・

1. 子どもに、理想を求めているから。

どんな子どもが理想ですか？生まれた時は元気で健康であればいいと思っていたけれど、愛するがゆえにだんだん欲が出てきてしまいます。優しい子になってほしい、集中してコツコツ努力して勉強もできるようにしてほしい、スポーツができて…と次々に理想が出てきます。

個性は、長所短所が表裏一体です。小さい頃はどちらかに偏っていることがあります。年齢と共に大人になってくるとバランスが取れていきます。

2. 子どもを「きちんと育てなければ」、という強い責任感があるから。

例：教育熱心で、祖父母からの期待を背負い、私がちゃんと育てないといけないという責任感が強く、周りの目も気になる為、きちんとさせようとするができないとイライラする。

3. 子どもの言動を、被害的になってしまうから。

例：ご飯を全然食べてくれない。私が作った料理が嫌なのかしら→実際は…お昼ご飯をたくさん食べたから今日はただお腹が空いていないだけかもしれない。

実際の子ども（乳幼児）は？

1. 「ぼくが」「わたしは」の世界に住んでいます。

乳幼児は自分の目線で生きています。まだ相手の目線は持っていません。

例：友達が使っている玩具を取ってしまう→大人は意地悪だと思うがそうではない。ただ自分が使いたかっただけ。相手が困る、嫌な気持ちになるなど、相手の目線は純粋にわからない。

取ったらどうなるか？という行動の先が見通せないということ。

例：虫に触る、洋服のまま雨の水たまりに入る。虫に触ると手が汚れる、水たまりに入ると洋服がぬれるという行動の先にあることはわからず、触りたい、入りただけで行動に出る。大人は「汚いから」、「汚れるから」が行動に移す前にわかる。親のように先に考えてやめようとしなのが乳幼児である。大人は先が見通せます。

○相手の目線、相手の思いはどのように学んでいくのか？

4歳頃から友達と一緒に遊ぶようになり、5歳頃になると次第に友達に譲ったり自分が我慢したりしなければいけないことも知っていき、それでも友達と一緒に遊ぶ方が楽しいなど感じるようになっていきます。

⇒他人の玩具を取ってしまうなど、一見、自己中心的に見える子どもの行動ですが、相手のことを考えられるようになるのはもう少し大きくなってからです。

2. 今を生きています。

⇒先の予測は難しく、体験し、失敗しながら学んでいく。

人の意見が聞けるようになるのも少し大きくなってから。

大人は先が見通せるから「こうした方がいい」と提案するが、子どもは今を生きているので、「ぼくはこうしたいんだ！」と主張する。これは、自主性が育まれている反応。3歳ぐらいの子どもは言葉や頭でしつていくのはまだそぐいません。

例：保育園で先生に挨拶をしないで通り過ぎていこうとする子どもに、親は挨拶をさせようとする場合があります。「挨拶しなさい。」「なんで挨拶しないの。」「と言いながら通り過ぎていく親子。子どもに挨拶させることに必死になる親。この時期の子どもは周りの行動を見て学んでいく時期です。挨拶はしなさいと言われてするのではなく、気持ち良く挨拶するものであることを伝える意味でも、親が手本となり笑顔で穏やかに挨拶するのを見る機会をたくさんもつことが大事です。させる挨拶で形だけになるのではなく、相手に心をこめて挨拶することを手本となり、見せることで子どもに伝わる方が良いでしょう。

例：「ごめんねしなさい」と言っていないですか？おもちゃの取り合い。3歳ぐらいになると友達が使った物を取らないことを覚えていく時期。「ごめんなんさい」という事を習慣づけられた子どもは、とりあえず「ごめんね」と言います。強い口調で「ごめんね」と言うので、相手が「いいよ」と言ってくれないこともあります。すると「(謝ったのに)いいよって言ってくれない。」と大人に言いに来ます。でも、「ごめんね」「いいよ」は合言葉ではありません。言葉だけを言わせるものではなく、気持ちを伝える言葉になるように。